

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-165782(P2012-165782A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-26636(P2011-26636)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月4日(2013.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

しかしながら、上記のような遊技媒体検出センサを備えた従来の遊技機では、コネクタ接続の接触不良等により遊技媒体検出センサと遊技制御装置とを接続する信号配線が一時的に断線状態となると、ゴト行為を許容するおそれがあった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

また、不正電波を検出するセンサを設けた従来の遊技機においては、遊技媒体検出センサの検出タイミングに合わせて電波を照射させて検出信号を出力させることで、不正として検出されることなく球の払い出しが行われるのを有効に防止することができないおそれがあった。このように、従来の遊技機では不正行為への対策が必ずしも充分とは言えず、不正行為によって遊技店に不測の不利益を生じさせる可能性があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

この発明は、上記のような問題点を解決するためになされたもので、電波などによる不正行為や信号配線の接触不良によって、遊技店が不測の不利益を被るのを回避できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明は、
遊技媒体を検出したことに関連して遊技者に特定の遊技価値を付与可能な遊技制御装置を有する遊技機において、

不正に遊技媒体検出信号を発生させる不正状態を検出し、該不正状態を検出した場合に不正信号を出力する不正検出手段と、

所定の領域を通過する遊技媒体を検出すると所定範囲の電圧レベルを出力する遊技媒体検出手段と、を備え、

前記遊技制御装置は、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

前記遊技媒体検出手段から出力される電圧レベルに基づいて前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を前記遊技制御手段に出力する検出情報伝達手段と、
を備え、

前記遊技制御手段は、前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 1 に記載の発明によれば、遊技制御装置は、遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、遊技媒体検出手段から出力される電圧レベルに基づいて所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を遊技制御手段に出力する検出情報伝達手段と、遊技制御手段からの指示に基づいて、入力された複数の信号を遊技制御手段に一括して出力する複数の入力ポート回路とを備え、遊技制御手段は所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と不正信号とを同一のタイミングで取得するため、不正に発生された信号を確実に検出することができ、これによって不正に遊技価値の付与を受けるゴト行為を防止することができる。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、

前記遊技制御装置は、

前記遊技制御手段からの指示に基づいて、入力された複数の信号を前記遊技制御手段に一括して出力する複数の入力ポート回路を備え、

前記不正検出手段から出力される前記不正信号と、前記検出情報伝達手段から出力される前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号とを同一の入力ポート回路に入力するように接続され、

前記遊技制御手段は、前記同一の入力ポート回路から前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする。

【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

請求項 2 に記載の発明によれば、入力された複数の信号を遊技制御手段に一括して出力する複数の入力ポート回路を備える場合にも、不正検出手段から出力される不正信号と検出情報伝達手段から出力される所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号とが同一の入力ポート回路に入力するように接続されることにより、遊技制御手段は所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と不正信号とを同一のタイミングで取得することができるので、不正によって発生した信号を確実に検出することができ、不正に遊技価値の付与を受けるゴト行為を防止することができる。

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 3 】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 2 に記載の遊技機において、

前記検出情報伝達手段から出力される信号には複数の前記遊技媒体検出手段に対応した複数の所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号が含まれ、

前記検出情報伝達手段から出力される前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を、複数の入力ポート回路に入力する場合には、前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号が伝達される全ての入力ポート回路に前記不正信号を伝達するようにし、

前記遊技制御手段は、

前記入力ポート回路毎に前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする。

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 4 】

請求項 3 に記載の発明によれば、複数の入力ポート回路へ球検出手段からの所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を伝達するように構成した場合でも、遊技制御手段は所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号の検出タイミングに同期して不正信号（電波、磁気不正）を取得するので、不正によって発生した信号を確実に検出することができ、これによって、不正に遊技価値の付与を受けるゴト行為を防止することができる。

【 手続補正 10 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 5 】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 3 に記載の遊技機において、

前記遊技制御手段は、

遊技制御に必要な情報を記憶可能な作業領域を備え、

前記作業領域は、アドレスが連続するように配置され、検出された前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号及び前記不正信号を前記複数の入力ポート回路毎に記憶する信号格納領域を含み、

前記異常信号を前記複数の入力ポート回路に入力する場合には、前記不正信号が伝達される全ての入力ポート回路において、同一のビットに前記不正信号が伝達されるように構

成したことを特徴とする。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

本発明によれば、電波などによる不正行為や信号配線の接触不良によって、遊技店が不測の不利益を被るのを回避できるという効果がある。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を検出したことに関連して遊技者に特定の遊技価値を付与可能な遊技制御装置を有する遊技機において、

不正に遊技媒体検出信号を発生させる不正状態を検出し、該不正状態を検出した場合に不正信号を出力する不正検出手段と、

所定の領域を通過する遊技媒体を検出すると所定範囲の電圧レベルを出力する遊技媒体検出手段と、を備え、

前記遊技制御装置は、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

前記遊技媒体検出手段から出力される電圧レベルに基づいて前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を前記遊技制御手段に出力する検出情報伝達手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技制御装置は、

前記遊技制御手段からの指示に基づいて、入力された複数の信号を前記遊技制御手段に一括して出力する複数の入力ポート回路を備え、

前記不正検出手段から出力される前記不正信号と、前記検出情報伝達手段から出力される前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号とを同一の入力ポート回路に入力するように接続され、

前記遊技制御手段は、前記同一の入力ポート回路から前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記検出情報伝達手段から出力される信号には複数の前記遊技媒体検出手段に対応した複数の所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号が含まれ、

前記検出情報伝達手段から出力される前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号を、複数の入力ポート回路に入力する場合には、前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号が伝達される全ての入力ポート回路に前記不正信号を伝達するようにし、

前記遊技制御手段は、

前記入力ポート回路毎に前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号と前記不正信号とを同一タイミングで取得することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機

。

【請求項 4】

前記遊技制御手段は、

遊技制御に必要な情報を記憶可能な作業領域を備え、

前記作業領域は、アドレスが連続するように配置され、検出された前記所定の領域を遊技媒体が通過したか否かを特定可能な信号及び前記不正信号を前記複数の入力ポート回路毎に記憶する信号格納領域を含み、

前記異常信号を前記複数の入力ポート回路に入力する場合には、前記不正信号が伝達される全ての入力ポート回路において、同一のビットに前記不正信号が伝達されるように構成したことを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記遊技制御装置は、

前記不正検出手段から出力される不正信号を保持する不正信号保持手段を備え、

前記不正信号保持手段が保持する前記不正信号を、該不正信号が不正検出でない状態に変化した後も前記入力ポート回路に入力するように構成し、前記遊技制御手段によって前記不正信号を取得可能にしたことを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。